

## 令和2年が暮れていきます 新しい年に思いを馳せて…

今年は本当に特別な年でした。何年後かの教科書には世界史上の出来事として、2020年の事が載るでしょう。我が国にとっても、「オリンピック イヤー」として、希望に満ちた新年を迎えたはずの年は、目に見えないウイルスの感染拡大によって、例年とは全く違う様相を呈することになりました。▼学校にあっても、休校からの新年度のスタートは、経験のない試練であり、毎日が試行錯誤の連続でした。私自身も生徒の登校しない学校の虚しさを初めて体験し、改めて「学校」という場所の必要性、「友達」の大切さ、人と人との「絆」のありがたさを身に染みて感じました。「ソーシャルディスタンス」という、人との距離感に慣れるまでに、時間はかかりませんでした。学校に於ける感染対策に、頭を悩ませる日々が続きました。▼そんな中でも八児中学校の先生方は、生徒と適切な距離感を保ちながら、真剣に向き合い、授業の遅れを取り戻そうと懸命に教育活動に励んできました。経験したことのない「修学旅行」、無観客での「体育大会」、展示部門のみの「文化発表会」と生徒の皆さん、特に3年生にとっては……物足りないものだったかもしれません。しかし、その行事一つ一つが「出来る」ことに、まず感謝しながら取り組みました。それぞれの行事等をやり遂げるたびに、それぞれの形の成果があったことは、生徒の皆さんの成長ぶりが物語っています。その点で「学校」という所が生徒の成長のためにある場だということを改めて感じます。▼この間、保護者の皆さまには、見えない所からのご支援・ご協力をたくさんいただきました。おかげ様で、八児中学校の関係者から一人の感染者も出さず、今年をのり切れそうです。

2020年の漢字「密」が発表されました。「三密」に代表されるようなマイナスのイメージだけでなく「新しい生活様式」「ステイホーム」等から、家族や大切な人とのつながりが密になったこと、人と人との密なつながりの大切さを再確認したことも、この字が選ばれた理由だと聞きました。年末・年始のいわゆる「冬休み」は、土日と三が日を含めてわずか10日間ですが、新しい年を迎えることとなります。今は……「自分が、感染しないようにする。」そして「自分が感染しているという前提で、人にうつさないようにする。」という行動しかできません。短い、しかし充実した、感染のない冬休みにしてください。『天は、その人が乗り越えることのできる試練しか与えない』を肝に銘じ、いつかこの試練も終わることを信じて、年の針をひとつ進めましょう。

八児中学校の教育活動の一つの象徴とも言える「稲作体験学習」も、機械で植えていただいて… 密にならないように刈って… 少人数で脱穀して… 違った形で収穫を祝う… というように「体験」の部分工夫すれば、何でも出来たし、出来たからまた、次を工夫しようとする。そんな1年間でした。▼いつかこの年を振り返ることがあれば「何も出来なかった」ではなく、「今年ならではの事をたくさん出来た」転じて…「あの時の経験が、今に活かされている」という、実感が持てるようになって欲しいと思います。▼そして来る2021年が「延期となった東京オリンピックが開催された年」と言われるだけでなく、教科書に「人類が COVID19 を克服した年」と記される、特別な年になるように願っています。皆さま、良い年をお迎えください。



今年は12月25日(金)まで授業があったので24日(木)に八児中学校にもサンタクロースがやってきました

## 今年の収穫祭は いつもと ちょっと違う

感染予防を考えて「断腸の思い」で、収穫祭の「餅つき」を断念しました。今年は、調理室で、技術家庭科の調理実習を兼ねて、もち米で「おこわ」を炊いて「豚汁」を作って教室で食べました。12月4日(金)に3年生、年末の24日(木)25日(金)にそれぞれ1、2年生と学年ごとに開催しました。八児中学校の田んぼで自分たちで作ったもち米の味は、格別……  
一足先に「収穫祭」を終えた、3年生生徒の感想を紹介します。

人生最後の収穫祭を振り返って心に残ったことは、今年3年生は稲作に関わってなかったのでお米が食べられるか、わからなかったけど、食べるとわかってからとてもうれしかったこと、豚汁は野菜が入っていて、食べられるか不安だったけど、みんなで作ったのでとてもおいしかったことです。  
また来年もしたいけど、もう八児中には居ないのでとても残念です。3年間とても貴重な体験が出来ました。中学校でお米を育てるのは、他の学校では考えられないことなので来年の生徒たちも頑張ってほしいです。  
3年1組 生徒

本当はおこわに入れる予定だった材料をすべて豚汁に入れてしまったり、スイッチを押し忘れてしまったけど、最終的にはすべて美味しくできあがって食べることができて本当に良かった。これらは先生方や係やボランティアの方々のおかげで、そもそもこの収穫祭という本当はコロナの影響でできないはずだったものをいつもと違う形で行わせてくれた人たちにも感謝してもしきれないと思った。いつも食べる給食も本当に美味しいけど、こうやってみんなで一からお米を作って協力して作ったおこわと豚汁はいつもと違う美味しさを感じた。食べ物の大切さを感じることができた。  
3年1組 生徒

この収穫祭を通して友達と協力し合っていてとても楽しかったし、仲を深めることができたと思いました。豚汁を作る時に一人一人が自分の仕事をして、ちゃんと役割ができていたと思いました。完成した時は、とても達成感が味わえたり、良い経験になったと思います。おこわは、ねばりけがあって米もちもちしていました。去年までとは少し違って餅つきではなかったけど楽しめて良かったです。  
3年2組 生徒

今年も収穫祭ができて良かったです。昨年とは内容が違うけど新鮮な気がして楽しかったです。おこわとかは、あまり作ることがないのでいい体験ができたなと思いました。それにめったにおこわは、食べないのでおいしさUp!!今年も楽しく収穫祭が出来たから良かったです。  
3年2組生徒

## 部活動 新人大会 成果報告

12月5日(土)～12日(土)にかけて、中体連バスケットボール新人区内大会が開催されました。結果をお知らせします。

### 女子の部

1回戦 対 則松中 ● 35-40 ○ 八児中

2回戦 対 沖田中 ○ 86-27 ● 八児中

1回戦は会場校でもあり、拍手の応援を背に僅差のゲームをものにしました。

2回戦では沖田中に力の差を感じる敗退となりました。冬場の走り込みから、今後の練習を頑張ります。

### 男子の部

1回戦 対 黒崎中 ● 18-79 ○ 八児中

2回戦 対 折尾中 ● 20-63 ○ 八児中

準決勝 対 浅川中 ○ 52-43 ● 八児中

3位決定戦 対 引野中 ● 45-80 ○ 八児中 第3位となり市内大会出場！

優勝を目指して、順当に勝ち進みましたが、準決勝で10月に行われた市民体育祭で勝利した浅川中に、リベンジを果たされる結果となりました。

1月9日(土)10日(日)に総合体育館で行われる市内大会で再戦の可能性もあります。県大会出場に向けて頑張ります。

## 収穫祭 名場面集 (3年生)

